第三講「ず」／「き・けり」／「つ・ぬ」／「たり・り」／「ぬ」・「ね」の識別

ず

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
未然形	ず						○	特殊型
		ざ	ざ	○	ざ	ざ	ざ	ざ＋**ラ変**型

【意味】

① 打消（～ない）

問一　「なかなか止まるべきにあらざれば、…」の傍線部の終止形を答えなさい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

き・けり

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	き							特殊型
形	**けり**	け**ら**	○	け**り**	け**る**	け**れ**	○	**ラ変型**

【意味】

○「き」　①「　　　」過去（～た）→「　　　」の経験

○「けり」　①「　　　」過去（～た・～たそうだ）→「　　　」の経験

②詠嘆（～よ・～なあ）

※「けり」が**詠嘆**になる場合

1「　　中」の「けり」

2「　　**けり**」の「**けり**」

3「べかり**けり**」の「**けり**」

4 **会話文**中の「けり」（→文脈判断。**まず詠嘆**で訳す。おかしければ過去。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　「合はせ［　a　］ども、…」の［　a　］に助動詞「き」を正しく活用させて入れよ。

問三　「いみじうつらき御心なりけり」の二重傍線部「けり」の助動詞の意味は何か答えよ。

つ・ぬ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	つ							型
形	ぬ							型

【意味】

① 完了（～た）

② 強意（きっと～・必ず～）（＝確述用法）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈見分け方〉＝「　　　　」を見る

②**強意**になるとき

つ
ぬ
＋「　　　　」

※下枠参照

てむ
なむ
（**て**ん）
（**な**ん）
てまし
なまし
てけむ
にけむ
つべし
ぬべし
つらむ
ぬらむ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔例題一〕　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　この使ひを失ひつらむ心憂さよ。

②　いふかひなくて、ともに帰りぬ。

③　こはいかなる物を食はせつるぞ。

④　よその眠も覚めつべし。

⑤　今は世の花も、盛り過ぎぬらむ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

たり・り

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	たり	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ	ラ変型
	り	ら	り	り	る	れ	れ	ラ変型

【意味】

① 完了（～た）

② 存続（～ている・～てある）

〈見分け方〉

まず「　　　　　」で訳す。↓おかしければ「　　　　　」。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　次の傍線部ａ・ｂの助動詞の意味として最も適当なものを、後の中からそれぞれ一つずつ選べ。

物思ひすがたにて出で（ａ）にけり。
春は廿九日（にじふく）あるかと候ひ（ｂ）しを…

ア　推量　　イ　使役　　ウ　断定　　エ　過去　　オ　完了　　カ　尊敬

ａ＝　　　　ｂ＝

問五　次の傍線部①・②の意味として、最も適当と思われるものを、それぞれ後の中から選べ。

とてもかくても過ぎ（①）なん。
恩所あれども生を変へ（②）ぬれば、…

ア　可能　　イ　自発　　ウ　完了　　エ　受身　　オ　打消推量
カ　意志　　キ　強意　　ク　過去　　ケ　推量　　コ　現在推量

①＝　　　　②＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「ぬ」・「ね」の識別

【識別対象】

1 「　　」の助動詞「ず」
2 「　　」「　　」の助動詞「ぬ」
3 ナ変動詞「　　」「　　」・「　　」の活用語尾
4 ナ行下二段動詞「寝（ぬ）」の一部

3 ｛　　　｝＋｛ね　ぬ｝

4 「　　　」と訳せる

接続	形		形
基本形	ず		ぬ
未然形		ざら	
連用形		ざり	
終止形		○	
連体形		ざる	
已然形		ざれ	
命令形		ざれ	
活用の型	特殊型	ざ＋ラ変型	型

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈「打消」と「完了」の見分け方〉＝「　　」→「　　」

①「　　」（＝接続）確認

1　**未然形**＋

ぬ　　ね

＝「　　」

2　**連用形**＋

ぬ　　ね

＝「　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②「　　」（＝活用形）確認

●『ぬ』

1　ぬ＋連体形接続の語

連体形＝「　　　」

「打消」→ぬ＋体言

2　ぬ＋｛　　。　　」（終止形接続の語）

終止形＝「　　　」

※ただし、文末の「ぬ」の時、**係助詞**と**疑問副詞**に注意！

文中に **係助詞「ぞ・なむ・や・か」** **疑問副詞（「いか系」「な系」）** がある→文末の「ぬ」は「　　　」形→「　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●『ね』

1　**已然形**＝「　　　」→ね＋已然形接続の語

ねば **ね**ど（も） こそ〜**ね**
→ **打消**「ず」の已然形

2　**命令形**＝「　　　」→ね＋「　　　」。（命令形接続の語）

※ただし、文末の「ね」の時、**係助詞「こそ」**に注意！

問六　次の傍線部ア・イの「ね」について、例にならって文法的に説明せよ。（例）尊敬の助動詞「る」の連体形

「とくとく帰りね（ア）」　ア＝

「君がすみかをそこと知らねば（イ）…」　イ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　次のア〜オの二重傍線部「ぬ」はいずれも助動詞であるが、ひとつだけ種類の異なるものを選べ。

ア　秋になりぬ。
イ　打松おどろおどろしからぬほどに置きて、…
ウ　うちとけぬさまにものをつつましと思したる気色、…
エ　恋の煙こそ世には絶えせぬほのほなりけれ
オ　酔泣きのついでに、忍ばぬこともこそ

問八　次の傍線部ア〜オのうち、文法上同じ意味を持つ助動詞の組み合わせとして、最も適切なものを後の中から選べ。

「鶯うちなんどして、やるな（ア）」
午の刻の下がりまで見えね（イ）ば、…
「取りて参らむ」とて立ちぬ（ウ）。
「心も得ぬ（エ）ことかな」
この男の気色に（オ）おそれて、…

①　ア―ウ　②　ア―オ　③　イ―ウ　④　イ―エ　⑤　ウ―エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講　「ず」／「き・けり」／「つ・ぬ」／「たり・り」／「ぬ」・「ね」の識別

①「仰せ合せしかば、人の亡び失せし事、…」の傍線部の文法上の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　尊敬　　イ　完了　　ウ　自発　　エ　使役　　オ　可能　　カ　過去

②「鰐（わに）に食ひ切られたるなりけりと見る程に、…」の傍線部「けり」と同じ意味・用法の「けり」が使われている文を、次のア～エの中から一つ選べ。

ア　身をえうなき物に思ひなして、京にはあらじ、東の方に住むべき国もとめにとて行きけり
イ　八重葎（むぐら）しげれる宿のさびしきに人こそ見えね秋は来にけり
ウ　野山にまじりて竹を取りつつよろづの事に使ひけり
エ　いとやむごとなききはにはあらぬが、すぐれて時めき給ふありけり

③～「うせさせ給ひぬるやうなる。」の波線部の文法上の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　命令　　イ　断定　　ウ　当然　　エ　意志　　オ　推量　　カ　完了
キ　伝聞　　ク　使役　　ケ　尊敬　　コ　禁止

④　「あまた年経ぬれば、…」の傍線部の活用の種類と活用形として正しいものを次の中から選べ。

ア　四段活用・未然形
イ　四段活用・連用形
ウ　下二段活用・未然形
エ　下二段活用・連用形
オ　ラ行変格活用・未然形

⑤　傍線部ア～エの「ぬ」について、一つだけ他と用法の異なるものを選べ。

かなはでやみ ア ぬと口惜しきに
分け行く道も見え イ ぬに、
鎌倉より二日にまかり聞き ウ ぬ。
忍びて、また年も返り エ ぬ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥ 次のⅰ・ⅱの傍線部「ぬ」「ね」の文法上の意味として最も適切なものを後のaの中からそれぞれ選べ。また、その活用形として正しいものを後のbの中からそれぞれ選べ。

ⅰ「今年はいまだ郭公こそ聞かね。」

ⅱ「さらばまことも汚れぬべしとて、～」

a　ア　過去　イ　打消　ウ　過去推量　エ　存続　オ　意志
　カ　婉曲　キ　強意　ク　尊敬　ケ　推量　コ　当然

b　ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

ⅰ　a＝　　b＝　　ⅱ　a＝　　b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　模範解答

〔例題一〕　①　強意　②　完了　③　完了　④　強意　⑤　強意

問一　ず

問二　しか

問三　詠嘆

問四　a　オ　b　エ

問五　①　キ　②　ウ

問六　ア　完了の助動詞「ぬ」の命令形　／　イ　打消の助動詞「ず」の已然形

問七　ア

問八　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第三講　「ず」／「き・けり」／「つ・ぬ」／「たり・り」／「ぬ」・「ね」の識別

〈解説〉

① 上が未然形か連用形で、「しか」と活用するのは、助動詞「き」（已然形）。よって、正解はカ（したがって、上の「合せ」は連用形）。

② 設問は「なりけり」の「けり」なので**詠嘆**。選択肢イが**和歌**だと気づけば解けたはず。

③ 上が連用形で、「ぬる」と活用するのは、助動詞「ぬ」（連体形）。下が推量系ではないので、完了のカが正解。

④ 「経（ふ）」は終止形が一文字の動詞、ハ行下二段動詞。活用形は下確認。「ぬれ」＝助動詞「ぬ」の已然形なので、傍線部は連用形。よって、正解はエ。

⑤ アは、**上**が「やみ」でマ行四段活用の**連用形**、もしくは**下**が「**と**」で上に係助詞がないことから**終止形**の「ぬ」。どちらから考えても**完了**の「ぬ」。イは、上が「見え」でヤ行下二段活用なので、未然形か連用形かここだけでは判断不可。よって下を見ると「に」がある。この「に」は接続助詞で上が連体形になるのだが、今は未学習のため、わからなければひとまずこの選択肢を保留。ウは、**上**が「聞き」でカ行四段活用の**連用形**、もしくは、**下**が「。」で上に係助詞がないことから**終止形**の「ぬ」。よって、ア同様に**完了**の「ぬ」と判明。残る選択肢エは、**上**が「返り」でラ行四段活用の**連用形**、もしくは、ウと同様に**下**が「。」で上に係助詞がないことから**終止形**。よってエも**完了**の「ぬ」と判明。そうすると、接続助詞が未学習でも消去法で答えは出せたはず。わからないものがあっても、このように**他の選択肢を利用して消去法で解くこともできる**ので、こういう考え方を身につけること。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥　i　**上**が「聞か」でカ行四段活用の**未然形**なので、**打消**「ず」。活用形は活用表から考えてもよいが、いつも通り**下**を確認すると「。」なので、**係助詞**がないか上をざっと確認。「**こそ**」があるので**已然形**。ちなみに、「こそ～**ね**」だから**打消「ず」の已然形**と解くこともできる。

ii　上が「汚れ」でラ行下二段活用のため、未然形か連用形かはここだけでは不明。よって、**下**を確認する。「**べし**」なので接続を考えると、この「ぬ」は**終止形**だとわかる。よって、**完了**の助動詞「ぬ」だが、さらに細かく意味を考えると、**下に推量系**がくっついているので、この「ぬ」は**強意**のほうがよい。選択肢を見ると強意があるので、これが正解。もちろん選択肢に「強意」がなく、「完了」しかなければ、完了が正解になる。

〔解答〕

①　カ　②　イ　③　カ　④　エ　⑤　イ

⑥　i　a　イ　b　オ　ii　a　キ　b　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。